

リーダー 対談

未来への一歩

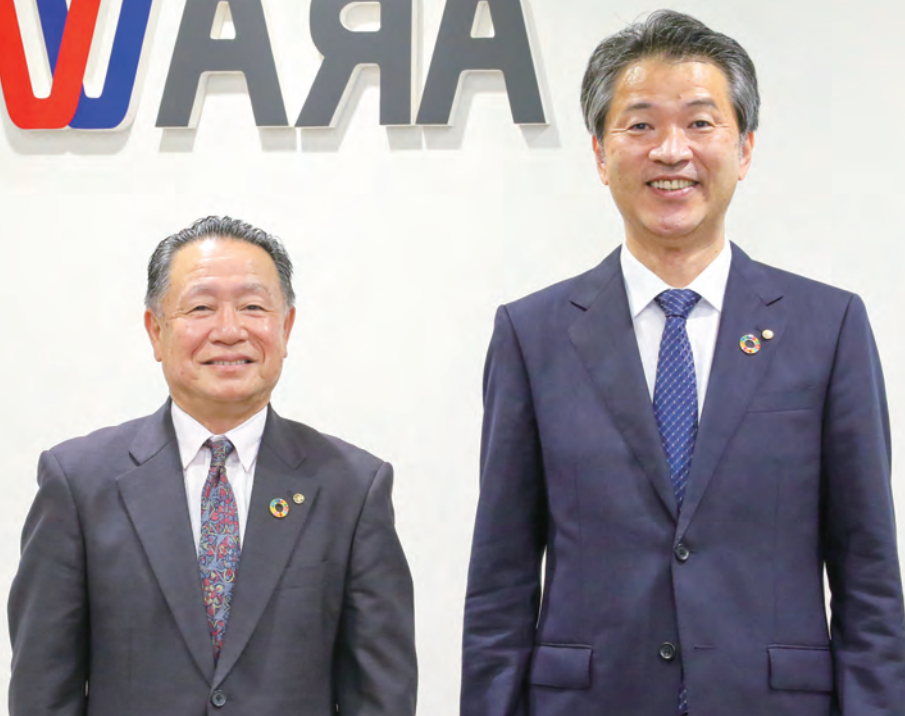
第9回

創業から約一世紀。歴史を誇る乾燥装置メーカー 業界のリーダーが掲げる 「変化を恐れない」経営哲学とは

時流を捉え、会社を成長に導いてきた注目の経営者と東洋証券経営陣が、ビジネスの生み出し方や企業経営について対談します。

今回は、今年5月に日本食品機械工業会会長に就任された、大川原製作所の大川原社長にお話を伺いました。

OKAWARA



株式会社大川原製作所 代表取締役

大川原行雄氏

YUKIO OKAWARA

1956年静岡県生まれ。大川原製作所に入社後、1992年取締役、2005年に代表取締役就任。一般社団法人日本粉体工業技術協会理事、公益財団法人長崎県産業振興財団理事など各種団体の要職に就く。2022年5月、一般社団法人日本食品機械工業会会長に就任。

東洋証券株式会社 執行役員 情報本部長

三浦秀明

HIDEAKI MIURA

1985年東洋証券入社。支店長を経て2018年に執行役員・内部管理本部長、2020年4月より東海・近畿・四国ブロック長を務め、2022年9月より情報本部長に就任。

1 食品を乾かす乾燥機 その技術は化学・環境分野でも

三浦 茶どころとして名高い静岡県にある大川原製作所ですが、創業当初は茶葉の乾燥機を製造販売するのが主力事業だったそうですね。

大川原 はい。その後は桜えびやしらすなど、さまざまな食品の乾燥機をつくれないうオーダーを受け、ニーズに合った製品をつくりながら成長してきました。食材の品質を保ちながら乾燥する技術はもちろん、乾燥機の容量や、これを設置する敷地面積もクライアントによってさまざまですから、ゼロからオーダーメイドでつくりあげる、一品一様のスタイルでご要望に答えています。

三浦 すると、お客さまとの付き合いも深いものになりそうですね。

大川原 おっしゃるとおりで、クオリティに納得のいかない場合は、長いものだと1年以上試験を繰り返しながら製品づくりをします。ひと口に乾かすと言っても、さまざまな要件を満たす必要があるのです。例えば、塩分を含むものを乾燥させたい場合、鉄で製造してしまうと、じきにサビてしまいます。高価なステンレスを使えば条件はクリアできるのですが、予算が合わない。こういった部分も調整をかける必要が出てきます。

三浦 日本の食生活を陰で支える、縁の下の力持ち



のような存在といえますね。

大川原 ありがとうございます。皆さんが親しみのあるものと、ふりかけやお菓子などの製造過程で使われています。ほかにも、多くの食品の一次加工の現場で当社の製品が活躍していますが、近年は食品だけでなく化学・医療・環境分野へも市場を拡げ、中国を中心に広く海外へも展開。現在はリチウムイオン電池の材料やコピー機のトナー、紙おむつの原料である吸水性ポリマーなど、化学品の乾燥機が主軸となっています。

三浦 なるほど。考えてみれば、食品以外にも“乾燥”させなければならないモノはたくさんありますね。

大川原 そうなんです。多くの製品ラインナップの改良を続けるなかで、最近ではお茶の搾りかすを燃料として再利用する「バイオマスボイラシステム」の受注がありました。茶かすといえば、これまでは廃棄処分、もしくは飼料として活用されてきましたが、これが燃料になればエコだということで、多方面から問い合わせをいただいているところです。

三浦 まさに、昨今、世界的なテーマとなっている「SDGs」にも合致する製品ですね。

大川原 当社創立の精神にも「次代文化の先駆け」という言葉があるのですが、人々が生活するうえで欠かせない乾燥装置を、既存の技術に甘んじることなく製造していきたいというのが当社の基本的な考えです。「SDGs」の視点に沿った装置をつくり、これまで以上に大きなマーケットで存在感を示していきたいですね。

2 早期からダイバーシティ経営を推進 多様な人材が活躍する会社へと成長

三浦 製品づくりだけでなく、会社経営においても時流を読み、ダイバーシティ経営を推進されているそうですね。

大川原 2016年に「OKWoMen」というダイバーシティ経営推進プロジェクトを立ち上げました。機械・鉄鋼業界は男社会というイメージが未だにあるかと思いますが、これからは女性、また海外の人材を積極的に活用しなければならないという想いからスタートして、もう6年になります。当時はすべての社内施設が男性向けのものしかありませんでしたから、お手洗いや保健室などを整備するところから開始し、毎年理工系の女性社員を採用することからはじめました。最近では地域でも「オーカワラは女性が活躍している」というイメージが根付いてきたように感じています。

社内会議でも女性の意見が採用されるシーンが増え、2年前の夏からは5色のカラーバリエーションがあるポロシャツがユニフォームとして登場。非常に好評を博しています。開放的な食堂は、昼の時間帯以外はミーティングスペースとして活用できるようになりました



まじめで、元気で、
さすがと言われる会社にしよう



し、無料のコーヒーサーバーを設置したりと、社員から出た意見が、彼ら自身の働く環境をよりよいものへと進化させています。

三浦 社員からの発信で会社が進化する仕組みは理想的ですね。

大川原 はい。このところ台湾、タイ、ノルウェーなどにも営業部門の者が赴いて仕事をしているのですが、いずれも私が号令をかけたものではないのです。「OKWoMen」をきっかけに採用した社員が一人で海外へ行き、仕事をしてくる様子を見ると、感慨深いものがありますね。当社の海外売上比率は5%程度、海外での私たちの認知度もまだまだ高いとはいえません。現在、社内にブラジルやイタリア、タイ、中国、マレーシア国籍の外国人社員がおりますが、海外のニーズに応えられるレスポンス力を高めるという意味でも、これからも人材の多様性を意識し、引き続きダイバーシティ経営を推進していきたいと考えています。

三浦 個性を発揮しやすい風土・機会があれば、多様な人材が結果を生めるという会社経営の好例といえそうですね。2027年には創業100周年を迎えられますが、これに向けて抱負をお聞かせいただけますでしょうか。

大川原 私は今66歳でして、社長に就任し18年目になります。5年後の100周年の際は次の人間が社長になっているはずですよ。ですのでそのビジョンは語りません(笑)。現在の会社の土台をより盤石なものとし、無借金経営で次の世代にバトンを渡すのが、私の使命だと捉えています。

3 変化を恐れない 「オーカワラ」の企業風土

三浦 そう仰られますが、本年、日本食品機械工業会の会長に就任されたように、まだまだリーダーとしての働きを期待する声も大きいのではないのでしょうか。

大川原 同会の設立当初から当社が関わっており、歴代の社長も役員を務めてきていたという流れのなかで、今回の就任という形になりました。食料品加工機械製造業の全国団体である同会は、世界有数の食品機械総合展示会「FOOMA JAPAN (国際食品工業展)」を主催しており、この6月に無事開催することができました。コロナ禍の最中ということで海外からのお客さまが少なかったのは残念ですが、入場者は延べ約10万人。移動に積極的になれない状況のなかでも、たくさんの方にお越しいただけてありがたく思っております。

三浦 日本食品機械工業会の方でもご活躍を期待しています。

大川原 現在も定期的にリモート会議など、忙しく動いているところです(笑)。

三浦 それでは最後に、大川原社長の経営哲学についてお聞かせいただけますでしょうか。

大川原 私が社長に就いたとき、「まじめで、元気で、さすがと言われる会社にしよう」を社是にしました。これが私の経営哲学(座右の銘)です。取引で困ったとき、あるいはクレームが発生したときに、社員には、状況を挽回して先方様に“さすが”と言ってもらえるためには何をすればよいかを考え、行動してほしいと思うのです。“さすが”と言われたいと思えば、自ずと行動も伴うはず。もうひとつ、将来のビジョンを達成するためには、「変化や失敗を恐れない」ことが重要ではないのでしょうか。失敗をすると、その責任を追及しが

社長も社員も変わっていく
そのたびに「オーカワラ」は
ブラッシュアップしてきた



ちですが、まずはその社員のチャレンジングな姿勢を評価するように指導しています。社員一人ひとりのそういった姿勢が、会社をよりよいものに変化させてくれると考えています。

また、私の代で社是を変えたのには、ビジョンや方向性などを社員に伝えるため、わかりやすく簡潔なものにしたいという意図もありました。決して以前の経営方針がよくないといったことではないのです。私は5代目になりますが、各々の時代で苦難も成果もあつたはず。社長が変われば、時代も変わりますのでそのときは社是も一新するでしょう。企業は社員がすべて。時代とともに社員の置かれている環境や考え方も変わっていきますから、変化に寛容であるべきです。このコロナ禍という状況変化も、新たなスタイルの「オーカワラ」を生み出すきっかけになり得ると捉えています。その時々社長のもて会社がブラッシュアップされ、成長し続けられるとよいですね。

三浦 ありがとうございます。

会社紹介 company introduction

株式会社大川原製作所

所在地：静岡県榛原郡吉田町神戸1235

創業年：昭和2年(1927年)

URL：<https://www.okawara.co.jp/>

アクセス：東名高速吉田I.C.から車で約2分

創業時から取り組んできた食品分野をはじめ、化学、医療、環境など多様な領域で人々の生活を支えている乾燥装置メーカー。主力商品は常圧、真空乾燥、ろ過などさまざまな用途に対応可能な「リポコーン」で、「第1回FOOMAアワード2022 審査委員会賞」を受賞している。

OKAWARA